

同じ立場だからこそ、提供できる医療がある。障害者も通いやすい医療現場づくりをしていきたい。



『ココロの耳  
伝えたい。だからあきらめない。』  
著：早瀬久美 (講談社)

障害者の薬剤師免許取得に制限を設けていた「欠格条項」。その撤廃運動の原動力として220万人以上の署名を集め、日本初の聴覚障害者で薬剤師となった早瀬が綴ったノンフィクション。



Challenge to POSSIBILITY

# 絶対に あきらめない。 伝えたい 想いがあるから。

昭和大学病院 薬剤部 薬剤師  
早瀬久美

「あなたがなりたいのなら、  
頑張ってみなさい。」

法律は変わるかもしれないから——」。

母は聴覚障害という壁を前に

「可能性へのチャレンジ」を口にした。

奇跡を起こした母の言葉

「あなたがなりたいのなら、  
頑張ってみなさい。」

法律は変わるかもしれないから——」。  
中学のとき、薬剤師への夢を打ち明けると、母は否定することなく、その肩を強く押してくれた。当時、母は現役の薬剤師。生まれつき耳がまったく聞こえない娘の希望を前に、聴覚障害者は薬剤師になれないという薬剤師法の「欠格条項」の存在を知らながら、「可能性へのチャレンジ」を口にした。

娘の名は早瀬久美。彼女はいま昭和大学病院薬剤部に勤務する現役の薬剤師だ。母の予言どおり、法律の壁を壊し、聴覚障害者で薬剤師免許を取得した「第二号」。本心に薬剤師になる夢を叶えてしまった。

高校卒業後、明治薬科大学薬学部に進学。1998年に卒業、国家試験に合格するものの、欠格条項に阻まれ、薬剤師免許の申請は却下された。ちょうど薬剤師への夢を母に告げた日から10年が経っていた。

「いま思えば、母のあの言葉は何て無責任だったのだろうと（笑）。でも、できる所まで進んで、ぶつかったらその時に周りに協力を求めればいいという母の言葉が何よりの支えでした。」

彼女の強い想いは、全日本ろうあ連盟をはじめ、各障害者団体にあつという間に波及した。220万人以上の署名が集まり、2001年7月、念願の法改正が実現した。



## 次の世代のためにも 自分が歩む姿を

当時はマスコミも注目した時の人。しかし、当の本人は落ち着いていた。

「免許が交付されたことは素直に嬉しかったですけど、私の夢は免許を取ることでなくて、薬剤師になることです。ようやくスタート地点に立っただけで、これから続く薬剤師の道に身が引き締まる思いでした」。

持ち前の負けん気の強さなのか、けつして浮かれてはいなかった。そして、こう手話を続ける。

「次の世代のためにも、この先、私がやっていく姿が意味を持つてくる」。

次の世代のため。このことを彼女が意識し始めたのは、大学生の頃だ。

全国ろう学生の集い(旧・全国聴覚障害学生の集い)への参加が多くのお会いをもたしらしてくれた。夫・憲太郎氏との出会いもこの集いである。そして憲太郎氏が立ち

上げた、ろう児たちのための「スマイルフリースクール」での活動は彼女の意識を大きく変えた。

そこには薬剤師になる夢を持つ自分に共感し、刺激を得てくれる後輩たちがたくさんいた。「ダンサーになりたい」と宣言した女の子もいた。周りは音楽が聞こえないからダンスなんて無理だという中、彼女はダンスを続け、体育大学のダンス専攻科への進学を果たした。自分との出会いが、ろう児たちの夢への力になつていく。

「薬剤師として自分がしっかりと歩む姿を、子どもたちの心に伝えることができた」。

出会えなければ伝わらない。伝えることをあきらめない想いの強さこそが、きつと人の心に届く。

## 聞こえない立場だからこそ、 提供できる医療を

現在は、病院薬剤部に勤務する傍ら、昭和大学が全国の大学病院に先駆けて20

07年春から設置した「聴覚障害者外来」を担当している。「往々にして、聴覚障害者は病院が嫌いです。それは自分の痛みをどう伝えればいいのかさえ、わからないから」。

耳が聞こえる人は小さい頃から親に病院に連れられて医師と親が話す会話を聞き、受診の流れを自然に身に付ける。聞こえない人はその経験値がゼロだ。そうした不安が病院を遠ざける。

「どうせ伝わらないからと言って、病院に行かず、我慢している人がたくさんいます。そうした方の不安を聞こえない私がいることで、払拭できれば」。

同じ立場だからこそ、提供できる医療がある。障害者が通いやすい医療現場づくり。薬剤師への道を広げ、次の世代のために進む彼女は、また新しいテーマを見つけている。



業務では筆談などでスムーズにコミュニケーションをとる。

次の世代のためにも、  
この先、  
私がやっていく姿が  
意味を持つてくる。

Challenge to  
POSSIBILITY



### 昭和大学病院 聴覚障害者外来

毎月第1・3土曜日  
9:00~12:00(祝祭日は休診)

2007年3月に全国の大学病院で初めて開設された聴覚障害をもつ患者さんのための診療窓口。内科医師が手話通訳、案内ボランティアの協力のもとに十分に時間をとって診察し、検査を行い、その場で診断結果と診療計画を説明する。投薬がある場合、希望に応じて聴覚障害をもつ薬剤師(早瀬)が効能効果や副作用の説明を行う。

CINEMA  
DVD  
Information

### 映画『ゆずり葉』

全日本ろうあ連盟の創立60周年記念映画。人情あふれる下町を舞台に「もうひとつの美しい言葉・手話」で織りなす、幾つもの世代をつなぐハートフル・ストーリー。監督は夫・早瀬憲太郎氏。ろう者初の薬剤師に挑戦する早瀬自身のエピソードも描かれている。

●DVD問合せ：(財)全日本ろうあ連盟出版局 TEL.03-3268-8847

